

すもと 市議会だより

第 3 号

平成19年1月15日

編集発行 洲本市議会
TEL 0799-22-3321(代)
FAX 0799-22-3092

// 12月定例会市議会 //



災害復旧事業適正化調査特別委員会を設置

神戸淡路鳴門自動車道通行料金の低減を求める意見書を可決
議案30件を原案可決、専決処分承認案件は承認

主な内容

《専決処分の承認》

- ・建物収去土地明渡し仮処分命令申立事件に関する和解
- ・特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正

《一般会計補正予算 1億8,950万円》

- ・給与改定等に伴う人件費精査 △1億84万円
- ・新エネルギービジョン策定事業等 818万円
- ・水道事業会計高料金対策補助金 870万円
- ・交流センター整備事業 9,310万円
- ・市債基金積立金 8,000万円

《国民健康保険特別会計補正予算 2億619万円》

- ・老人保健医療費拠出金

《下水道事業特別会計補正予算 △2,759万円》

- ・特環下水道事業費

《介護保険特別会計補正予算 7,539万円》

- ・地域包括支援事業費

《水道事業会計補正予算 1億381万円》

- ・配水及び給水費

《条例の制定及び一部改正》

- ・副市長定数条例制定
- ・市民会館の設置及び管理に関する条例の廃止
- ・放置自動車等の防止及び適正な処理に関する条例制定
- ・学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正

《その他議案》

- ・兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の制定
- ・公下第3号加茂污水幹線管渠埋設工事請負変更契約締結
- ・財産の取得

《平成17年度各会計決算を認定》

- ・9月定例会市議会で特別委員会に付託された各決算は、3分科会を設置するなど、延べ8日間にわたり審査を行い、今定例会市議会でいずれも認定いたしました。

12月定例市議会は、12月8日から12月18日までの11日間開催し、専決処分承認・報告案件、補正予算案件、条例の一部改正案件など、計32件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認・可決いたしました。

第3日(18日)には、災害復旧事業適正化調査特別委員会設置議案が上程され、特別委員会が設置されたほか、議員提出議案3件、意見書案1件が上程され、原案のとおり、可決されました。

また、9月定例市議会から継続審査となっていた決算を認定いたしました。今回は11名の議員が一般質問に立ち、理事者に対して行政のあり方や施策の考え方などをたどりました。紙面の都合からその一部を要旨で掲載いたします。

一般質問 要旨

交通施策

パールラインへの支援

◎ 洲本港から沼島航路以外の定期航路がなくなることは、断腸の思いであるが、市民に還元すべき財源を用

いて、これ以上航路を維持し続けることに理解が得られないと考える。万策尽きたと両手を挙げる時期ではないか。

◎ 何とか維持したいと努力してきたが、関係機関の公的支援も得られず、様々な試みも効果は少なく、これ以上赤字を計上し続けることは忍びがたいと考え、平成19年3月31日の実績を限りとして、洲本市からの支援を打ち切ることといたします。

◎ なお、航路の存廃については、淡路開発事業団の決定となります。

国道バイパス

◎ 青雲橋北詰から炬口に至る国道28号は、交差点、



青雲橋北詰

信号機も多く、特に朝夕の通勤時間は大渋滞となり、安全面と通行面に大きな支障が出ている。洲本バイパス全線開通が解決策と考えられるが、残り区間である宇山、炬口間の進捗状況はどうなっているのか。

◎ 18年度に入ってから現状と進捗ですが、宇山地区住民説明会、地権者への説明会を行い、10月に幅杭の設置、11月に境界立会いを行っています。

◎ 兵庫国道事務所の担当の話では、今後、用地測量を2月末までに実施し、買収面積を確定。平成19年度以降は、用地買収単価を決定し、建物等の物件調査を行い、算定済みのところから用地交渉に入る予定と聞いています。

福祉施策

生活保護行政

◎ 今年3月に厚生労働省から「生活保護行政を適正に運営するための手引」が出された。この手引きによって今まで以上に選別性を強め、保護基準を切り下げ、適用を抑制しようとしていると考える。生活保護申請は簡単に認められないこと

が多く、本市では特に厳しい感じがするがどうか。

◎ 申請、相談にあたっては、それぞれの方の条件があり、生活保護を担当するケースワーカー、査察指導員により、生活保護制度の趣旨、制度概要を十分説明し、他の法律に適用しない

か、他の制度を利用できないかなど十分に話をさせていただいています。法の趣旨を尊重し、生活保護行政を適正に進めたいと考えています。

情報施策

地上波デジタル対応

◎ テレビの放送が、2011年7月24日に地上波デジタル放送に移行するとされている。本市のCATVもそれまでに準備の必要があると考え、どのような方式で、いつまでに対応するのか。

◎ また、総予算額と財源は、

◎ 方式については、光ケーブルを各家庭にまで敷設することが一番求められていますが、経費的な問題もあり、また、技術革新などもあるため、今しばらく検討し、時期については、平成21年4月をめどにデジタ

ル波の受信が出来るように準備を進めたいと考えています。

◎ なお、総予算額は、新市建設計画に計上した30億円余りを基本に検討し、財源は合併特例債を中心にと考えています。



CATV

財政

新年度予算

◎ 来年度19年度の予算は、一律3割削減と聞く。一律削減ではなく施策に強弱をつけ、市民生活に何が重要であるかのメリハリをつけることが、行政運営の能力手腕と考える。財政窮迫の理由と削減についての見解は。

◎ 洲本市の財政状況は非常に厳しい状況となってい

ます。原因としては、合併以前の大型事業等の起債の償還、景気低迷による税収の落ち込み、災害による減免等によるものです。歳出カットについては、一律ではなく、あくまでも目標であり、特に物件費や政策経費、業務委託などに関しては、非常に厳しい数値で臨みたいと考えています。

有料広告

◎ 全国の自治体で自主財源確保のため保有する様々な資産を広告媒体として活用し、広告収入や経費削減を図る広告ビジネスの取り組みがなされている。本市でも税外収入の確保、財源確保策として検討しているのか。

◎ また、この広告で得られる収入の使途を例えば子育て支援に限定することで、地域貢献になるという方法を提案するがどうか。

◎ 本市の若手職員で構成する「未来の種を見つけてくる研究会」でも検討しており、収入源、財源確保の観点から有効なものと認識しています。使途を特定することにについては、良い方法だと思えます。ご意見として承ります。

教育政策

国体記念事業

Q のじぎく兵庫国体の開催を記念して、炬火リレーのコースを参考に、のじぎく兵庫国体通りと名称を付けては。また、夢と感動を与えてくれたこの大会を記念する事業を考えてはどうか。

A 道路に愛称をつける場合、他の例を見ると、地域住民の陳情や愛称委員会などの設置、地域住民の機運の盛り上がりによって命名されることが多いことから、住民からの要望等が必要と考えます。また、記念事業については、貴重な意見として受け止め、様々な事業と関連させることができないか、今後の検討課題とさせていただきます。



のじぎく兵庫国体

子ども相談総合窓口

Q 子どもに関するあらゆる相談に対応する窓口を一本化し、年中無休、24時間体制で電話による相談を受け付ける総合相談センターを置く市があるという。また、メールによる相談の受付も各地ではじまっており相談件数も増加していると聞く。本市での設置は考えられないか。

A 教育委員会事務局では、学校教育課の指導主事が相談を受け付けるほか、青少年センターに相談窓口を設けています。健康福祉部局では、健康福祉館に家庭児童相談窓口を設置し、家庭相談員が面接、電話相談を行っています。県においても、中央子ども家庭センター・洲本分室の児童相談、淡路教育事務所内のひょうごっ子悩み相談、県警の少年相談室があり、普段から連絡、連携を密にし、対応を行っています。総合窓口設置については、現在設置している窓口の存在を知っていただき、利活用の促進を図りたいと考えます。

また、メール相談については、相談しやすい利点はあるものの、いたずらや迷惑メールの書き込みなどに苦慮することが考えられ、設置に関しては十分検討したいと思えます。

行政事務

補助金の不適切な事務処理

Q 平成16年発生農業災害復旧補助金に係る不適切な事務処理については、マスコミに大きく報道された。この農業事業について、着手、完成見込み時期などの工程管理が甘かったのではないか。

A また、今後の補助金返還は、当然一般財源で行うしか方法はないが、内部の合理化努力で捻出する考えは持っているのか。

A 平成16年の台風23号の被害は、人命救助、ごみの片付け、水道の復旧、住家の被害調査など、生活基盤の再構築にエネルギーをとられ、農産物復旧は立ち遅れました。工事の現場管理も、三千箇所あまりの工事発注、進捗管理に追われ、発注後の対応が十分でないとして反省しています。しかし、全力で復旧に取り組み、国で補助採択された工事を完了期限までに完成できないという理由で、事業を打ち

切ってしまうことのためらいが、今回の不適切な事務処理に繋がったと考えます。補助金の返還は、一般財源で返還しますが、その補てんは、庁内努力の節約分を充て、返したという形跡がわかる手法で返還に努めたいと考えています。

事務処理

Q 複数の部課に関連する事業等での連携がうまくいっていないように感じる。もっと問題点を共有し、協力していく必要があると考えるがどうか。

A また、課内の業務、人的管理について、分業時代とは言え、上司は、部下の作業状況や健康状態まで把握して業務に当たらせるものと考えるがいかがか。

A 複数の部署にまたがる事業は、確実に関係部署へ内容が伝わるよう決裁文書の合議を行っています。問題事案処置経過記録票を作成し、対処処置、是正、予防処置という形で記録を残していますが、事務の基本に立ち返り執務を行い、さらに徹底いたします。

また、上司、部下の間での報告、連絡、相談を徹底

環境施策

エコステーション

Q 現在のエコステーション制度になじめない人の受け皿、救済措置として、また、ごみ分別の負担を軽減し、ごみ減量のため、各地域にいつでも運び込み、その場で分別できる常設型のエコステーションが必要と考えるがどうか。

A また、廃プラスチックを油に戻す装置の小型化が実現し、自治体や地域での取り組みが可能になったと聞く。廃プラスチックの回収実施の予定は。

A それぞれの地域で収集体系の工夫等をお願いできればと考えます。また、資源・ごみに関しては、これまでと同様にみつあい館がご利用いただけます。ただ、由良地域については、みつあい館ともかなり離れ、住民の皆さんの要望もあり、常設型エコステーションを1箇所新設する予定です。

生ゴミのたい肥化

Q 先日視察した宮崎県小山市のバイオマスセンターでは、生ゴミを混ぜて良質なたい肥作りをしていた。生ゴミをたい肥として土に返すことは、循環社会の自然な流れである。洲本市有機資源センターでもできないか。

A この有機資源センターは、本年8月の完成で、まだ4ヶ月しかたっていない。循環型社会の形成という意味からも重要と考えますが、生ゴミのたい肥化の検討には、もう少し時間が必要と考えます。



洲本市有機資源センター

太郎池周辺整備

◎ 老朽化した太郎池と山林化が進む周辺地域は、市街地からも近く、長期的な視野にたつて、ため池活用の補助制度を利用し、池の改修、埋め立てを行い、住宅地、防災公園などを計画しては。また、周辺の渋滞緩和策として、太郎池の南側を通り、宇原の池田橋まで新たな道路を検討してはどうか。

▲ 太郎池の整備等に関しては、用水の利用者である田主関係者や地域の住民の発意に基づくことが基本であり、要望書が提出された場合、適切な対応をしたいと考えます。また、周辺道路の整備に関しては、国道バイパスと接続する市道中央線の南への延長である仮称外環状線の計画があり、周辺道路とのアクセスを考慮したいと思えます。

ミニポートピア

◎ ミニポートピアが入るとポートターミナルビルの周辺がにぎわしくなるとの期待は、単なる希望的観測ではないか。経済波及効果

等はどう考えているか。

また、本市に本当に必要な施設なのか。

▲ ポートターミナルビルは、共同汽船撤退後、その跡地が遊休化し、活性化委員会等で何年も何年も協議しましたが、有効活用には至りませんでした。今回のことで、家賃が事業団に入り、環境整備費として売り上げの1%が市の財政に入ります。また、運営会社の法人税や10人以上の雇用も生まれるとも聞いています。

設置については、今の本市の窮状を思えばふさわしい施設と信じています。



ミニポートピア予定地

農業委員会委員を推薦

- ・目釜 勲氏
・富貴 豊氏
・長池 明氏
・梶田 丈市氏

特別委員会を設置

災害復旧事業にかかる補助金の不適切な事務処理について、その原因究明と再発防止により今後の事業適正化の調査研究を行うため、災害復旧事業適正化調査特別委員会を設置しました。

特別委員会委員

- 委員長 柳 雅文
副委員長 竹内 通弘
委員 氏田 年行
委員 山本 和彦
委員 笹田 守
委員 小松 茂
委員 木下 義壽
委員 先田 正一
委員 片岡 格

請願

『最低保障年金制度創設』の意見書採択を求める請願書は賛成少数で不採択と決しました。

意見書

「神戸淡路鳴門自動車道通行料金の低減を求める意見書」を全会一致で可決し、内閣総理大臣等、関係機関に送付しました。

なお、淡路地域3市議会で同一の意見書を可決し、その実現をめざしています。

常任委員会審査状況

総務常任委員会

一般会計補正予算では、歳入で、道路改築事業補助金、臨時財政特別債の減額のほか、減税補てん特別交付金、エネルギービジョン策定事業助成金の追加等を。歳出で、給与改定に伴う人件費、総合基本計画策定事業費の減額、交流センター整備事業費、市債管理基金積立金の追加等を。その他、CATV事業特別会計補正予算、広域消防事務組合規約の変更等、10議案について、14日に委員会を開催。

審査の結果、地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う洲本市条例の整理に関する条例制定について、財産取得についての2議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で、いずれも原案可決。

教育民生常任委員会

一般会計補正予算では、給与改定に伴う人件費、し尿処理場補修工事費の減額のほか、生活保護費、埋蔵文化財調査費の追加等を。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算では、給与改定に伴う人件費、住宅環境整備事業費の減額のほか、水道事業会計高料金対策補助金、県営ため池等整備事業負担金の追加等を。その他、土地取得造成、上灘簡易水道、由良交流センター事業の各特別会計補正予算、水道事業会計の補正予算、字の区域の変更、市道路線の認定等、10議案について13日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致で原案可決。

12月定例会の日程

- 8日(開会) 本会議
・専決処分承認案件1件 上程、説明、質疑、採決
・専決処分報告案件1件 上程、説明
・議案29件上程、説明
・質疑、一般質問6議員
11日 本会議
・質疑、一般質問5議員
・議案29件を委員会付託
・議案1件上程、総務常任委員会に付託
・請願1件上程、教育民生常任委員会に付託
12月15日 委員会審査
18日 本会議
・議案30件の委員会審査 報告、討論、採決
・決算認定案件4件の委員会審査報告、討論、採決
・議員提出議案3件上程、採決
・議員提出議案1件上程、採決、特別委員会委員選任
・請願1件の委員会審査報告、討論、採決
・意見書案1件上程、採決
・推薦案件1件追加上程、推薦
・議員派遣上程、採決
・閉会中の所管事務調査事項を決定 (閉会)

